

第4回 賀戸久先生記念研究会 報告

2014年11月7日、金沢工業大学主催の第4回 賀戸久先生記念研究会に招待され、発表してまいりました。

故 賀戸先生は生体磁気計測のパイオニアとして常に新しいアイデアを持ち、楽しみながら研究を進めるという姿勢で、私たち多くの研究者や臨床医をご指導してくださいました。また、その楽しく、飾らないお人柄から多くのご友人や仲間が集まり、周囲には研究分野を超えた絆が生まれました。それで、毎年故 賀戸先生を偲んで研究会が開催されています。

新分野である「幼児用 MEG による幼児の発達研究」に、我々が取り組むに至った経緯も、故賀戸先生が築かれた道があったからだと思います。おなじく同会に招待されたオーストラリアのマッコリー大学 スティーブン・クレイン 先生と、金沢大学（三邊 義雄 教授）の間に、言語研究に関する国際交流が生まれ、大学間協定が結ばれています。この大学間協定締結の背景にも、故 賀戸先生のご縁があったと感じております。そして、時にはお酒を飲みながらも、研究談議に盛り上がった良い思い出が、現在、新分野で勇気を持ち、研究に精進する我々の原動力になっていると思います。

このような研究会での発表の機会を与えていただいた金沢工業大学 先端電子技術応用研究所 上原 弦 教授に御礼申し上げます。

平成 26 年 11 月 18 日

金沢大学子どもこのころの発達研究センター 特任教授 菊知 充

